

◎ 【国語部門】

1 行事及び内容

(1)研究委員会

①第一回研究委員会：6月6日（月）

- ・事業計画 ・文集「あまくさ」第五十集の編集方針と募集要項の検討
- ・研修会の検討

②国語部門研修会：8月8日（月）

- ・講話及びワークショップを中心とした研修

講師：熊本県立教育センター 平岡 馨 教科研修室長

③第一回文集「あまくさ」編集委員会：12月27日（火）

- ・編集までの日程と審査基準の確認および審査 ※学校図書館教育部門と合同

④第二回文集「あまくさ」編集委員会：1月5日（木）

- ・審査反省および入賞者名簿の作成

⑤第三回文集「あまくさ」編集委員会：1月23日（月）

- ・第五十集の校正と編集の反省

⑥第二回研究委員会：2月16日（木）予定

- ・国語部門年間反省 ・次年度へ向けて

～その他の活動～

※小学校県文集「ゆめ」審査会：10月17日（土）

(2)本年度の研修会について

研究テーマを「生きて働く言葉の担い手が育つ国語科授業の創造」と設定し、8月8日（月）に天草教育会館で以下の内容で実施した。（参加者：小学校37名 中学校21名）

講話・ワークショップ

テーマ：「今、求められる国語科学習」

講師：熊本教育県立センター 平岡 馨 教科研修室長

2 成果と課題

本年度は、夏休みの期間に研修会を実施した。昨年度の研究発表会から引き続いて、熊本教育県立センターから講師を派遣していただき、講話とワークショップを兼ね合わせたような研修を実施した。内容は、これからの国語科教育に求められることについて、国の動向や学習指導要領の改訂を踏まえたものだった。参加していただいた先生方には大変好評で、教員としての研修意欲に高まりが見られた。来年度は、研究発表会を予定している。本年度の研修を踏まえながら、天草の先生方の研修意欲を満たすものを作り上げたい。

文集「あまくさ」第50集は学校図書館部門との合同審査を経て無事に編集作業を終えることができた。昨年度までと同様に、国語部門所属の多くの先生方に協力していただき、1日で審査を終えることができた。複数で話し合いながら審査をすることで審査の精度が上がるとともに、審査員にとって作文指導の研修の場にもなっている。また、小学校県文集「ゆめ」の審査も多くの先生方の協力により、スムーズな審査ができた。次年度も多くの作品が寄せられることを願っている。しかし、本年度は審査をしていただく先生方を探すことに大変苦勞した。夏の研修会で協力を依頼したが、引き受けて下さる先生は毎年同じである。自主的な研修であるので強制はできないが、多くのことを学べる機会なのでそれを理解してもらうための告知の方法を再検討したい。